拠点

拠点１　　子どもの生活研究所（療育）

１．　運営方針・目標

めばえ学園、おおらか学園、東京都発達障害者支援センター、さらに子どもの生活研究所こぐま学園、特定相談支援事業所などの事業所の実質的な運営を有機的に連携させた「クローバーシステム」を基盤として、子どもの生活研究所内に設置されているすこやか園（保育所）との関係も含めて法人内の他の事業との協力体制を図りながら、事業運営を柔軟に行う。

社会福祉法人嬉泉の基幹となる療育・保育の実践学習の場として、受容的交流理論の継承・発展に取り組み、職員の質的向上務める。と共に法人の職員研修の場としての位置づけを更に強化し、且つ積極的に人事交流を展開していく。

また、社会福祉法人の責務として、世田谷区の世田谷区社会福祉協議会が設置する「社会福祉法人地域公益活動協議会」に参画し、地域における公益的な取り組みを実施していくが、法人内において、世田谷区内で中心的に事業展開をし、さらに法人本部のある子どもの生活研究所が中心的な役割を担う。

東京都社会福祉協議会、東京都発達障害者支援協会、全日本自閉症支援者協会などの支援者団体に参画して、情報の発信や共有をすすめて事業や研修の充実に努める。

保育部門拠点と連携・協力していく。

子どもの生活研究所の建物の経年劣化が進んでおり、一昨年より計画的に修繕を実施しているが本年も順次すすめていく。

① 子どもの生活研究所として、こぐま学園と障害者相談支援事業所を運営する。こぐま学園は社会福祉法人嬉泉独自の個別的支援事業として継続していくが、昨年度に引き続き、運営体制の整備を行う。特に他事業所との連携をより一層深めると共に職員研修機能の充実をはかっていく。またこぐま学園卒業生を対象にフォローアップを実施する。特定相談支援事業所は、めばえ学園、おおらか学園等の利用者の利用計画を作成しサービス利用を援助するとともに区民のサービス利用の援助等を行う。また地域の相談機関、サービス提供機関と連携を図りながら相談事業を実施する。

② めばえ学園は、引き続き世田谷区に二か所の児童発達支援センターの一つとしての機能を充実させる。年々幼稚園や保育園の併用利用も増加し、利用の仕方も多岐に渡る。児童発達支援センターとして地域に認識を浸透させて利用の拡充を図り、引いては運営の安定につなげ、より多くの児童・保護者、連携の保育所・幼稚園が利用するよう機能を充実させていく。具体的には、専門職による支援・検査・相談、支援員による施設訪問支援や連携した支援体制作り、ペアレントメンターの活用等家族支援の充実、それらを実現すべく、療育の体制を再構築して、仕事の効率化を図りながら安定した事業運営を課題とする。

③ おおらか学園は、本人や家族の加齢や病気等に伴う家庭状況の変化や支援ニーズに対応するべく、短期入所・居宅支援・移動支援・家庭訪問、時間外支援、付き添い支援など、様々な生活全般にわたる支援の方策を検討する必要がある。将来の生活拠点も視野に入れ、地域生活が継続的に保障されるように、相談支援事業所をはじめ関係諸機関とも連携しながら地域の社会資源をできるだけ活用した支援体制の構築を目指していく。

④ 東京都発達障害者支援センターは、相談業務とともに区市町村との連携を強化し発達障害者支援体制の整備に向けた区市町村へのバックアップ、また支援機関との連携を強化し、支援の質の確保および向上を目指す。さらに支援者支援においては、特に成人期の発達障害者への支援力向上を図るため、主催する研修をより専門性を重視した形態、内容等を提供する。そして、平成 30 年度より実施している発達障害者支援地域連携会議を引き続き開催し、各区市町村の発達障害者支援体制整備においてより効果

的な企画内容を提供する。平成 29 年度より引き続き東京都から委託をされている東京都ペアレントメンター養成・派遣事業の拡充を目指した取り組みを行う。その他都民への啓発・啓蒙活動、コンサルテーション等を実施する。

東京都より法人が委託されている発達障害者支援スキルアップ研修の企画をし、他事業所と協働して実施する。

２．月間・年間予定

※年間行事等実施計画を添付

３． 職員体制

※組織図を添付

４．職員研修

本法人が実施する以下の研修に積極的に参加する他、関係諸機関が実施する外部研修への参加も積極的に行う。また事業所内でのスーパービジョンを丁寧に実施する。

①療育合宿研修
②全体職員研修
③本法人およびトスカ主催セミナー・研修への参加
④事業所間職員交流研修
⑤事務研修
⑥地域福祉活動　自立支援協議会・地域リハビリテーション実務者連絡会（世田谷りはねっと）・せたがや福祉区民学会での事例発表
⑦全国自閉症支援者協会、東京都社会福祉協議会、特別支援教育研究所への研修協力

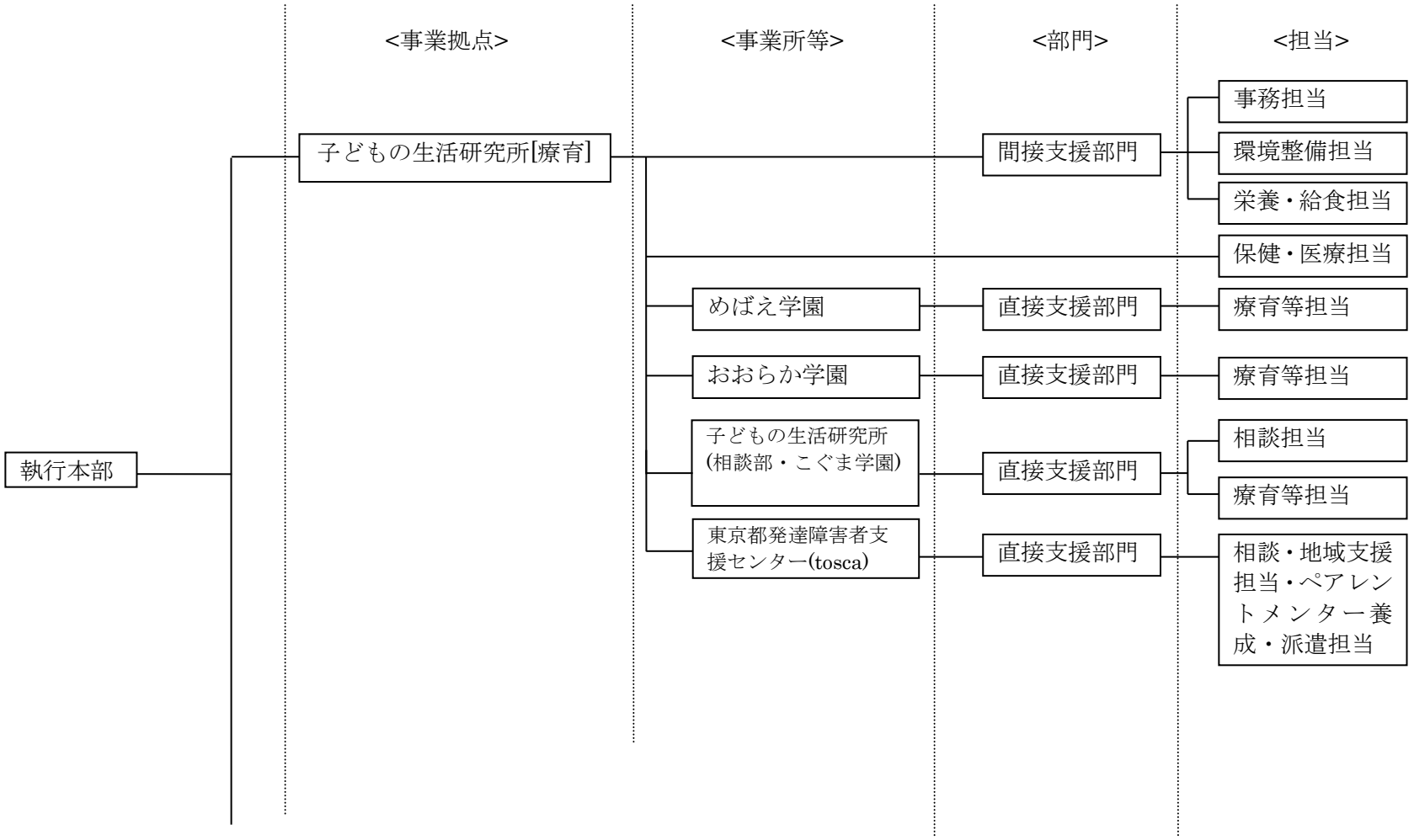
５． そ の 他（建物改修、設備・備品等購入等）

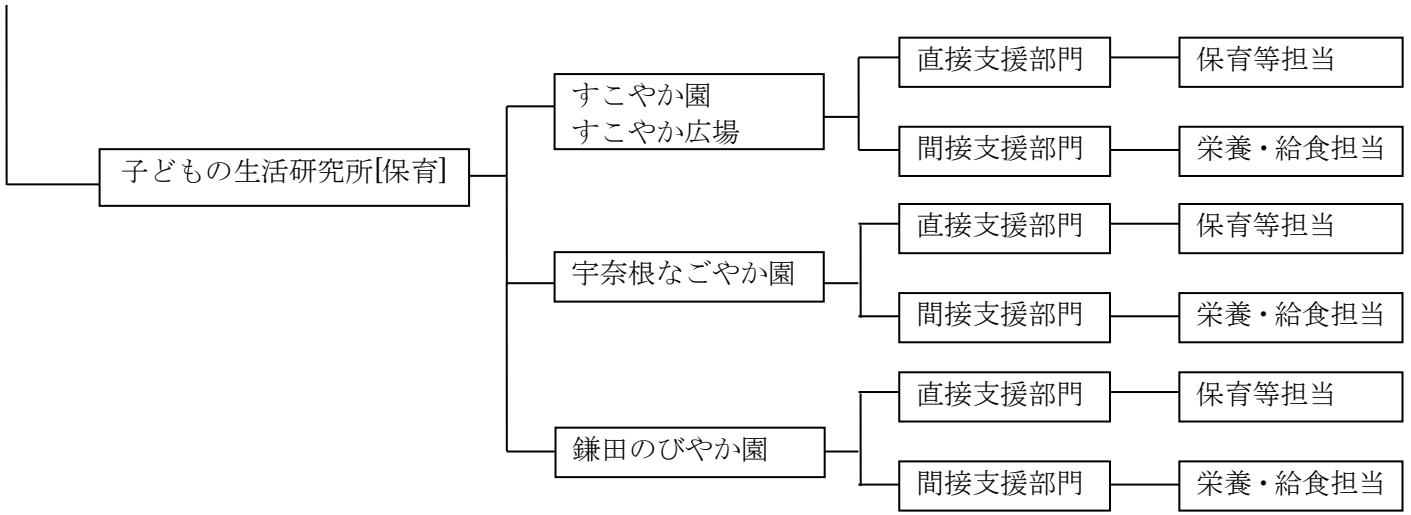
・防災対策に向けて備蓄用の物品の補填。
・建物の老朽化を点検し改修をすすめる。本年度は建具修繕や塗装の修繕を中心に順次とりかかる。
・園庭の樹木が近隣の迷惑になってきているほど大きくなっているため、伐採・剪定を行う。

別　紙(事業計画書関係)　　年間行事実施計画(子どもの生活研究所[療育・保育])

項目／月	行事 日	行事 内容	行事 日	行事 内容	職員研修・職員会議等 日	職員研修・職員会議等 内容	災害訓練 日	災害訓練 内容	健康管理・衛生管理 日	健康管理・衛生管理 内容	その他 日	その他 内容
4月	1	新任職員歓迎会		入園式 誕生日会月1回		職員会議週１回･子研厨房会議･看護師会月１回	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		場長会 クローバー運営会
5月						世田谷区看護師連絡会 りはねっと	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		場長会 クローバ運営会
6月							15	防災訓練 消火訓練		健康診断・内科健診 衛生委員会		園長会 クローバー運営会子研委員会m
7月		施設内宿泊体験				りはねっと	15	防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生員会		場長会 クローバー運営会
8月		施設内宿泊体験				夏季療育合宿	14	防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		場長会 クローバー運営会
9月						りはねっと	15	防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		理事会 クローバー運営会
10月		秋祭り 施設内宿泊体験				せたがや福祉区民学会 自立支援協議会	15	防災訓練 消火訓練		健康診断　衛生委員会 内科健診		評議委員会園長会 クローバー運営会
11月		嬉泉バザー				全日本自閉症支援者協会全国大会・りはねっと	16	防災訓練 消火訓練		健康診断　衛生委員会		場長会 クローバー運営会
12月		クリスマス会 施設内宿泊体験		トスカ支援者育成講座		冬季療育合宿 世田谷看護師連絡会	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		理事会・評議員会場園長会
1月		もちつき 施設内宿泊体験				りはねっと 全体職員研修	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		クローバ運営会
2月	2	節分		トスカ支援者育成講座 トスカ支援者育成講座		世田谷区看護師連絡会 自立支援協議会	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		園長会 クローバー運営会
3月		ひなまつり 卒業遠足		卒園式 施設内宿泊		新人研修・りはねっと	15	防災訓練 消火訓練		衛生委員会		理事会・園長会、クローバー運営会

事業拠点組織図(子どもの生活研究所[療育・保育])




子どもの生活研究所[保育]
すこやか園
すこやか広場
直接支援部門
保育等担当
間接支援部門
栄養・給食担当
宇奈根なごやか園
直接支援部門
保育等担当
間接支援部門
栄養・給食担当
鎌田のびやか園
直接支援部門
保育等担当
間接支援部門
栄養・給食担当